

新人の「問う力」を強化する

— 今から準備したいフォロー研修 —

今年も多くの企業が新入社員を迎えています。その育成は順調にスタートできているでしょうか。

弊社も4月は新入社員研修を多く担当させていただいております。そこで感じることは、年々“**素直で真面目な方が増えている**”ということです。

“素直で真面目”は、良いことですが、**逆に「自分の頭で考えない」ことが懸念**されます。自分の頭で考えないということは、「誰かの頭で考えてもらう」こと（依存）です。これでは、いつまでたっても自立できません。

しかし、「自分で考えてみよう」といっても、**何を考えてよいのかがわからない**のです。それは、新人だけではないでしょう。ともすれば、入社数年後の先輩社員も上司から、同じことを言われているのではないのでしょうか。

そこで、大切なのは、**「何を考えるのか、その考え方を教える」**ことです。

その一つが**「4方向思考法」**です。

4方向とは、「前方向」「後方向」「上方向」「下方向」です。この4つの観点から考えることが大切です。

「前」に考える：「それでどうなる」「次にどうすべきか」「このままだと、どうなるのか」

「後」に戻って考える：「なぜそうなったのか」「その原因は」

「上」から考える：「全体から見たらそれはどんな意味があるのか」「より広い視点からはどう捉えるか」

「下」に考える：「それはどういう意味か」「どのようにすべきか」掘り下げていく。

このように、考え方のツールを教えてあげる必要があるでしょう。

弊社の新入社員研修では、昨今の若者の傾向から様々な育成手法を取り入れて実施しています。これらを研修を通して実践的に体得していただきます。

「すでに新人研修は実施しているからもう遅い」とお考えかもしれませんが、半年後、一年後のフォロー研修で実施できます。

特に、現場経験を多少積んでからの方が、その効果を実感していただけるでしょう。特に、**「うまくいかなければすぐに退職する」傾向がある昨今だからこそ**、フォロー研修を今から計画しておく必要があります。

今回紹介した「4方向思考法」は、一つの研修ツールに過ぎません。貴社の状況に合わせてその他の手法も多くご提案いたします。

興味・関心のある方は、まず下記から是非ご相談下さい。ご相談・仮提案は無料でさせていただきます。を

> お問い合わせはこちら

